

# 988K

## ホイールローダ



\*写真は海外仕様機でオプション品を含みます。

### エンジン

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 名称        | Cat® C18 ACERT™ |
| 定格出力(グロス) | 423 kW          |
| 定格出力(ネット) | 403 kW          |

### バケット

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 7.0 m <sup>3</sup> |
|--|--------------------|

### 運転質量

|           |
|-----------|
| 53,100 kg |
|-----------|



オフロード法少数特例  
2014年基準同等適合車

# 業界トップ クラスの 作業効率で トン当たり コストを削減 します

## 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 高効率作業.....         | 4  |
| 高信頼設計.....         | 6  |
| パワートレイン.....       | 9  |
| 油圧システム.....        | 10 |
| オペレータ環境.....       | 13 |
| テクノロジーソリューション..... | 14 |
| イーजीメンテナンス.....    | 15 |
| カスタマーサポート.....     | 15 |
| 安全性.....           | 16 |
| サステイナビリティ.....     | 18 |
| ダンプマッチング.....      | 19 |
| バケットバリエーション.....   | 20 |
| オペレーティングコスト.....   | 21 |
| 988Kホイールローダ仕様..... | 22 |
| 988K標準装備品.....     | 29 |
| 988K必須アタッチメント..... | 30 |





Cat大型ホイールローダは、各コンポーネントをユニットごとで補修・交換可能なモジュラー設計により修理費を抑え、耐久性を追求し機械寿命を最大限に延長します。機械性能を最適化し、整備を簡素化することで、トン当たりコストと作業量の最大化を両立させ、安全に作業ができます。

1963年の導入以来、988ホイールローダは50年以上にわたり業界のリーダーとしての地位を保ち続けています。お客様の成功をサポートするためCaterpillarは、全力で取り組み新たなシリーズを導入し続けています。私たちの伝統を受け継いだ「988K」。パフォーマンス、信頼性、安全性、オペレータの快適性、整備性そして効率の高さで皆様の現場をバックアップします。

# 高効率作業

先進の統合システムが高い燃料効率を提供します



## エコノミーモード

さらに燃料生産性をアップします。

先進技術を駆使したシステムが実燃費を低減。エンジン回転をマネージメントするオートマチックアクセルの採用により、オペレータは左ペダルと作業機レバーを操作するだけで低燃費作業が可能となります。

- スロットルロックON時: オペレータは、アクセル操作なしでシステムが自動で出力を調整し燃費を改善します。
- スロットルロックOFF時: 通常のアクセルペダル操作をしながらシステムがエンジン出力を調整し燃費を改善します。
- 燃料消費量を、スロットルロックのオペレーションに比べて最大20 %削減します。
- 通常通りのアクセル操作も可能です。



## Cat C18 ACERTエンジン

Cat C18 ACERTエンジンは、過酷な作業に対応するとともに、米国EPAやEUの第4次規制をクリア。国内ではオフロード法2014年少数特例基準同等に適合しています。

- 電子制御のエンジンは車両の各システムと連携してコントロールされ、燃費が向上しています。
- オートアイドルストップ機能採用で燃費低減と同時に排出ガスを削減します。
- キーOFF後も全システムの冷却が完了してから自動でエンジンを停止するディレイエンジンシャットダウン（エンジン自動クールダウン）が耐久性を高めます。



## Catプラネタリ式パワーシフトトランスミッション

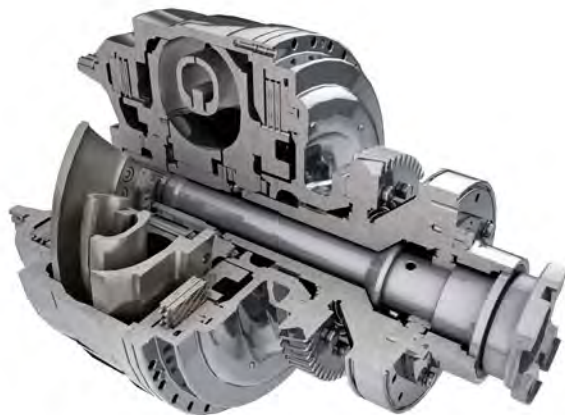
まったく新しいスピードシフト電子制御（APECS）トランスミッションにより登坂でのトルク切れがなくなり、どのシフトポイントでも強力な駆動力をキープし燃料効率を高めます。



## インペラクラッチトルクコンバータ (ICTC)

けん引力を変化させることで、油圧システムへのエンジン出力の配分を増加させ常に高効率の作業ができます。

- タイヤの摩耗が低減します。
- フルスロットルシフトが可能となりサイクルタイムを短縮させます。
- 積込時のダンプへのアプローチがスムーズに行え、荷こぼれを低減し、サイクルタイムを短縮します。



## ロックアップクラッチ付トルクコンバータ

- 油温の上昇を最小限に抑え、トルコンによるパワーロスを無くします。
- ダイレクト駆動により、ロード&キャリアなどでの燃費を大きく向上させます。
- 運搬速度の向上によりサイクルタイムを短縮します。



# 高信頼設計

最も過酷な作業条件を想定して設計しました



## リフトアーム

- 新型Zバーリンケージで、バケットのエッジや作業現場の良好な視界を確保します。
- コンパクト化により全長を約200 mm縮小し小回り性も改善しました。
- 厚板鋼板を使用したリフトアームが応力負荷を吸収します。
- 要所のピン部は、一体構造の鋳鋼製で強度を高めています。
- 応力分散設計により、耐久性を向上し補修間隔を延長します。



### 堅牢な構造

極めて過酷な作業条件下でも耐える堅牢な長寿命設計が施された構造により、ダウンタイムを低減して収益性が高まります。

- リアフレームは、ねじりによる衝撃力に強い箱型断面構造を採用しています。
- ヘビーデューティタイプのステアリングシリンダマウントが、効率的に操向時の負荷をフレームに分散します。
- アクスルの取り付け方法を最適化し、剛性を高めています。
- 下部ヒッチピン、フレームプレート、ベアリングサイズを大型化し耐用年数を延長しています。



### フロントリンケージ

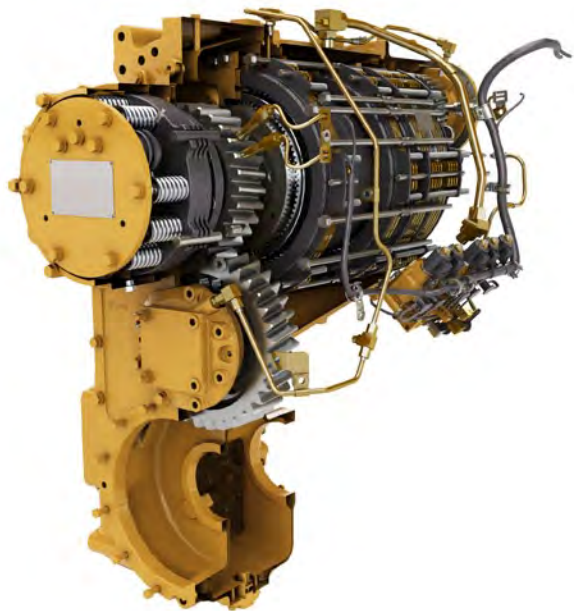
長期に渡る耐久性と信頼性を確保するためリンケージピン接続部には、自動給脂システム(オプション)に対応も可能な高強度ピンを採用しています。



## STIC™ (Steering and Transmission Integrated Control) システム

前後進、シフトチェンジ、操向操作までが1本のレバーに集約された、ステアリング&トランスミッション統合コントロール(STIC)システム搭載。作業にマッチした応答性と操作性を実現します。

- レバーを軽く左右に動かすだけで、ステアリング操作ができます。
- シフトチェンジは、フィンガーコントロールです。
- 1本のレバーに集約することで、スムーズで応答性の良い操作でオペレータの疲労を軽減します。



## Catプラネタリ式パワーシフトトランスミッション

負荷を分散して伝達する遊星歯車構造により高い耐久性を発揮します。

- スピードシフト電子制御(APECS)で、スムーズなシフトチェンジと効率化を可能としています。
- Catの高い熱処理加工ギヤと冶金技術がロングライフ信頼性を高めています。
- 幅広いアプリケーションに対応する前進4速/後進3速トランスミッションを採用しています。
- 39 km/hのトップスピードで、ロード&キャリア作業の効率を高めます。

## Cat C18 ACERTエンジン

過酷な作業現場で高い効率を支えるCat C18 ACERTエンジン。Catクリーンエミッションモジュールにより、排出ガス成分を高効率で削減します。DPF再生には、オペレータの手を煩わせない自動再生システムを搭載しています。

- エレクトロニックコントロールモジュールが、作業に合わせた迅速なエンジンレスポンスを可能にします。
- 高効率で信頼性の高い燃料噴射システムMEUI™ (Mechanically Actuated Electronic Unit Injection) 搭載。燃料の噴射タイミングや噴射時間、噴射圧を完全に制御します。
- 定格回転数を低速化し、燃料消費を抑えると同時に耐用年数も延長します。
- オフロード法少数特例2014年基準同等に適合。
- 尿素SCRシステムにより、NOxを効率的に除去しつつ燃費を改善しています。



# パワートレイン

さらに強化されたパワーと操作性を作業量に変換



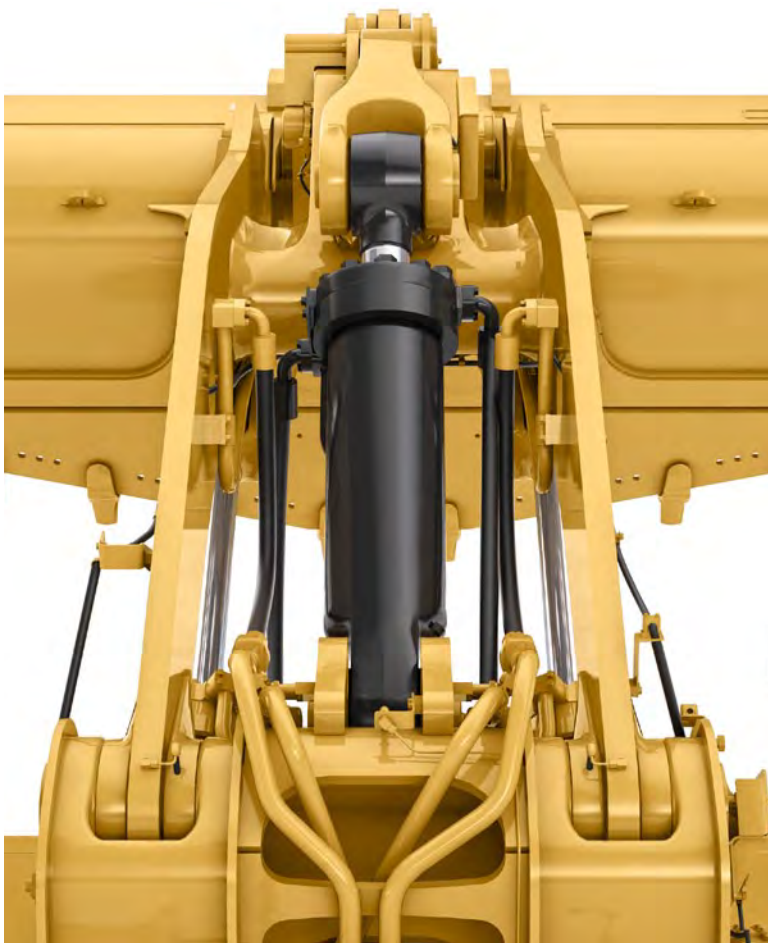
## インペラクラッチトルクコンバータ (ICTC) & リンブルコントロールシステム (RCS)

先進のインペラクラッチトルクコンバータとリンブルコントロールシステムの組み合わせにより、けん引力のロスを削減。トン当たりコストを低減します。

- 左側ブレーキペダルの操作で、けん引力を25～100 %の範囲で自在にコントロール。タイヤのスリップと摩耗を低減します。  
また、けん引力が25 %に達した状態でさらに踏み込むとブレーキがかかります。
- リンブルコントロールシステムにより、油圧パワーを維持しつつホイールスリップを抑制します。
- ロックアップクラッチトルクコンバータによるダイレクトドライブ機能により燃料効率が向上します。

# 油圧システム

高効率油圧システムが生産性を最大限に高めます



## ポジティブフローコントロール (PFC) 油圧システム

油圧ポンプとコントロールバルブを同時に制御するポジティブフローコントロール油圧システム。油圧ポンプの最適制御と作業機レバーの操作量センシングにより吐出量を素早くコントロールします。

- 可変容量ピストンポンプにより、迅速で効率的な作業サイクルを生み出します。
- 油圧レスポンスの向上でバケットのコントロール性能や、オペレータの操作フィーリングを格段に高めました。
- 油圧システム内の発熱量が減少し、常に安定した性能を発揮します。
- 最大油圧流量時のエンジン回転数を1,400回転に抑えムダを抑制します。

## E&Hコントロール

作業装置の操作系に先進のE&Hコントロールを採用。優れた操作レスポンスで生産性を高めます。

- 電子制御油圧シリンダが常に快適でスムーズな操作を実現しました。
- クイックディテント機能により容易でスムーズな操作が可能です。
- リフト/チルトキックアウトの位置設定がキャブ内からできます。

## ステアリングシステム

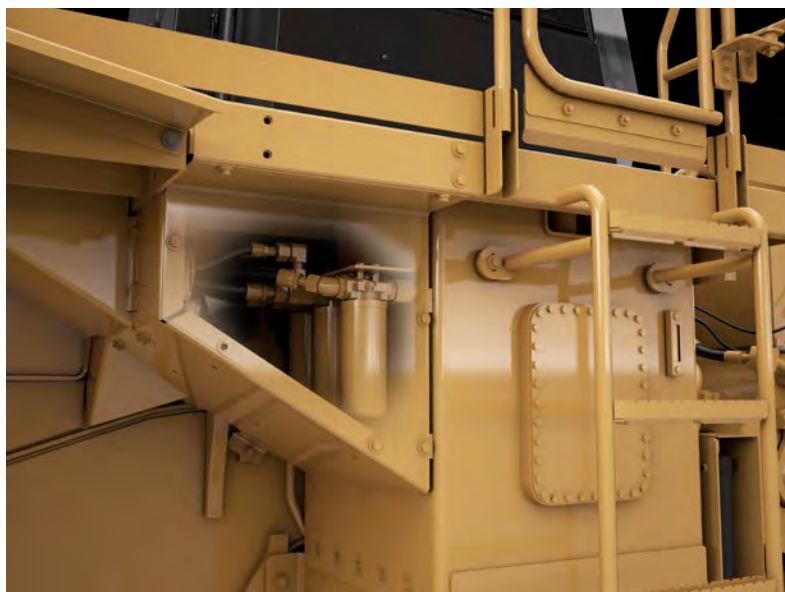
確実な操作性を生むロードセンシング油圧ステアリングシステム。緻密に車両をコントロールします。

- 可変容量ピストンポンプ採用で効率を高めました。
- 43°の操向角度で、狭い場所でも容易に作業ができる小回り性を実現しています。
- ステアリング操作とシフトチェンジ機能の一体化によりオペレータの快適さを高めています。

## フィルタシステム

先進のフィルタシステムが、油圧システムの信頼性と性能を高めています。

- ケースドレーンスクリーン
- 油圧オイルクーラリターンフィルタ
- パイロットフィルタ
- 作動油タンク内リターンスクリーン
- アクスルオイルクーラスクリーン(装着時)





お客様に喜びを。新型キャブでオペレータの快適性をさらに向上しました。

### キャブへの乗降

人間工学に基づき新設計されたキャブアクセス。容易かつ安全に乗降ができます。

- 跳ね上げ式STICレバーコンソール。
- 傾斜角度が緩やかな乗降用階段。(45度)
- 標準装備のステップライト。

### CatコンフォートシリーズIIIシート

CatコンフォートシリーズIIIシートは、オペレータの快適性を高め、疲労を軽減します。

- 厚みがあるコンタークッションのヘッドレスト付シート。
- エアサスペンションシステム。
- 6箇所の調整が可能で、調整用レバーやダイヤルは操作しやすく配置されています。
- シートに連動して動くSTICレバーコンソール。
- 3インチ(75 mm)幅の巻取式シートベルト。



### コントロールパネル

人間工学に基づいて配置されたスイッチ類やインフォメーションディスプレイにより、オペレータはいつでも快適に操作を続けることができます。

- 大型バックライト付のスイッチは、LEDインジケータで作動確認が容易です。
- スイッチ表示は簡単に機能が判別できるようISO記号がプリントされています。
- E&Hパーキングブレーキを採用しています。

### キャブ内環境

清潔で快適なキャブ内環境は、オペレータの負担を軽減して生産性を高めます。

- キャブマウントとシートのエアサスペンションが振動を軽減します。
- オートエアコンディショナが、キャブ内温度を最適に保ちます。
- 空気清浄機能付の加圧密閉式キャブ。
- 便利なランチボックスとキャブフロア下収納トレイ。



# オペレータ環境

人間工学に基づくクラス最高の快適性を  
実現しました



# テクノロジーソリューション

## 統合電子システムで生産性を高めます

統合されたエレクトロニクスは現場とオペレータにあらゆるレベルでの情報を提供します。これによりスマートマシン化が可能となり、オペレータはより多くの機械情報を得られ機械とオペレータ双方の生産効率が高まります。

### タッチスクリーンインフォメーションディスプレイ

アップデートされた最新のタッチスクリーンインフォメーションディスプレイが作業のパフォーマンスをより一層高めます。

- 直感的に容易に操作可能なユーザインターフェース
- 車両システム情報をオペレータに常に知らせることでサービス時間を短縮
- 容易に積載量を把握できるCatプロダクションマネジメントシステム統合

### Cat® Product Link™ (プロダクトリンク)

プロダクトリンクのリモートモニタリングにより、車両管理が容易になります。

- ウェブベースのアプリケーションVisionLink®を通じて遠隔で車両情報にアクセスできます。
- 車両のシステム情報や診断情報を常にお知らせすることで車両の稼働効率を高めます。
- 燃料消費量や積載量の集計表示が可能です。
- 車両位置情報、稼働時間、車両ステータスを常に把握できます。

### バイタルインフォメーションシステム (VIMS)

専用のパソコンを車両に接続し、直接車両情報にアクセスできます。

- 積載量とサイクルタイムに基づいた生産性レポートが作成できます。
- 生産性のデータをオペレータのトレーニングなどに活用できます。
- 車両の各パラメータや診断情報の詳細データを取得できます。
- 車両のセンサーは情報の傾向を分析することにより、車両の状態をモニタリングします。



## イージーメンテナンス

整備時間を短縮し、休車時間を低減

休車時間の短縮を追求し、お客様の生産性向上をサポートします。

- 整備ポイントへの地上やプラットフォームからのアクセス、集中化により、メンテナンスを安全かつ容易に行えます。
- エンジンルーム両サイドのスイング開閉サービスドアで、日常点検がラクに行えます。
- エコロジードレインは、整備性を高めるとともに汚れた油を垂らさず周囲環境に影響を与えません。
- VIMSの情報により、オペレータや整備担当エンジニアは事前に問題箇所を把握できるため休車時間を短縮できます。
- トランスミッションコントロールバルブに地上からアクセスが可能です。



## カスタマーサポート

Catディーラーが、生産性維持への手段をお手伝い



### 世界のマーケットが認めたCatディーラーサポート

頼れるパートナーとしてCatディーラーはいつでもお客様の身近にいます。

- 予防メンテナンスプログラムとサポート契約をご用意。
- 業界最高レベルの部品供給体制。
- オペレータ研修による効率向上のお手伝い。
- 純正のCatリマン部品による対応。

# 安全性

安全性の確保を最優先に考えます



Caterpillarは、オペレータや作業現場で働く人々に安全な作業環境を提供できるよう日々製品の改良を続けています。

## 機体へのアクセス

- 左右のキャブ昇降用階段の傾斜角度を45度にして乗降時の安全性を向上しました。
- 整備エリアはプラットフォームに集中させています。また、通路床面はフラットで滑り止め加工がなされています。
- 地上やプラットフォームからのアクセス時には、常に手足の3点支持を可能なようにハンドレールやステップを設置しています。
- 階段にはアクセスライトが装備されています。



### ワイドな視界

- オプションの熱線入りリアビューミラーが、雨天や寒冷時の視認性を高めます。
- リアビューモニタを標準装備しています。
- オプションのLED作業ライトを装備することで、夜間でのクリアな視界を確保します。
- キャブトップの黄色回転灯 (LED) をオプションでご用意しています。

### オペレータ環境

- キャブマウントとシート一体型レバーコンソールポッドが振動を軽減します。
- 加圧密閉式キャブは空気清浄機能付です。
- シートに3インチ (75 mm) 幅の巻取式シートベルトを標準装備しています。

# サステナビリティ

環境は社会的使命と捉えています



## 環境保護の重視

988Kは、環境に対する責任を重視し設計されています。

- 当社従来機に比べ、燃料消費量を最大20 %低減させCO<sub>2</sub>排出量を削減しています。
- オートアイドルストップ採用で不要なアイドリングを無くし燃料を節約します。
- Catメンテナンスフリーバッテリーの使用により、廃棄物を削減しています。
- 988はオーバーホールや車両の再生により、繰り返し何度も再使用できるように製造されています。機械の寿命を最大限に延長するためCaterpillarでは、リマン部品やリビルドプログラムなどのオプションを数多く提供しています。これらのプログラムでは、再使用コンポーネントや再生コンポーネントが新品の40～70 %の価格で提供されるため、オペレーティングコストが削減でき環境保護にも役立っています。

# ダンプマッチング

## 最適なダンプマッチングを提供



|          | 770 | 772 | 773 | 775 |
|----------|-----|-----|-----|-----|
| 標準リフトアーム | 3   | 4   | –   | –   |
| ハイリフトアーム | –   | –   | 5   | 6   |

### 効率的な機種選定

短時間でダンプトラックを満杯にするためには、最適な機種の組合せで積載・運搬システムを効率化することが不可欠。988KをCatダンプトラックと組み合わせることで、より低いトン当たりコストでの生産量を最大限に増加させることができます。標準仕様は、770に3杯積み、772に4杯積みでのムダの無い積み込みが可能。ハイリフト仕様は、773に5杯積み、775に6杯積みです。

# バケットバリエーション

多彩な作業ニーズに対応します



## パフォーマンスシリーズバケット

新設計のパフォーマンスシリーズバケットを標準装備。バケット形状を最適化することによって、優れた荷入り性能を実現し掘削効率がアップ。また、生産性が向上することで燃料効率も高まります。

## ロックバケット

用途: 採石現場などの切羽などの積込み作業

## ゼネラルパーパスバケット

用途: 製品積込み作業

## グランドエンゲージツール (GET)

グランドエンゲージツールのオプションにより、お客様の用途に合わせたカスタマイズが可能です。

- サイドバープロテクタ
- ゼネラルデューティチップ及びペネトレーションチップ
- セグメントエッジ及びハーフアロータイプセグメントエッジ

グランドエンゲージツール (GET) は、ホイールローダの生産性を高めバケット寿命を延長します。豊富な知識を持つCatディーラが、お客様に最適なオプション選択のお手伝いをいたします。



# オペレーティングコスト

## スマート稼働で時間とコストを節約します



ホイールローダは燃料効率の最も良い機械の一つとして挙げられます。Catホイールローダの優れた燃料効率は優れた最新技術から生まれます。

- **パフォーマンスシリーズバケット:** 優れた荷入り性能と効率の良い積込みでサイクルタイムを短縮。生産性と同時に燃料効率を向上します。
- **ポジティブフローコントロール油圧システム:** 作業装置やステアリングに使う油圧パワーを、必要とする分だけ供給することでロスを削減。燃料効率が向上し強力なけん引力が確保できます。
- **ACERTエンジン:** 先進のエンジン電子制御で最大限の出力と効率を引き出します。
- **エコノミーモード:** オートマチックアクセルの採用で、エンジン出力を最適コントロールし、エコノミーモードでも生産性への影響を抑え燃料を節約できます。
- **オートアイドルストップ機能:** エンジン、電気システムの自動シャットダウンにより燃料を節約します。
- **ロックアップ機能付トルクコンバータ:** ダイレクトドライブ駆動により燃費を改善します。
- **APECS:** まったく新しいスピードシフト電子制御 (APECS) トランスミッションにより登坂での駆動力がアップし、どのシフトポイントでも強力な駆動力をキープすることで燃料効率を高めます。

燃料消費は、機械の仕様やオペレータの操作技量、作業状況などによっても異なります。

- **機械の仕様:** 作業の用途に応じて最適なワークツールやタイヤを選択。タイヤの空気圧が適正であることを確認し、エコノミーモードを活用して燃料効率を最大限に引き上げます。
- **機械配置:** 積込み時にはタイヤが1.5回転以内になるようにダンプを配置します。機械レイアウトを効率よく行い積込み・運搬の移動距離を最短にします。
- **掘削時:** 1速ギヤで掘削し、もみ込み動作はせずにバケットを上げながら素早くチルトさせます。リフトレバーはディテント位置に入れずに、インペラクラッチを利用します。
- **ダンプトラックまたはホッパーへの積込み:** 必要以上にバケットを高く上げず、エンジンを低速回転気味に保ち安定した状態でダンプします。
- **アイドルリング:** パーキングブレーキを掛けてエンジンアイドルマネージメントシステムを作動させます。

# 988Kホイールローダ仕様

## エンジン

|                     |               |
|---------------------|---------------|
| 型式                  | Cat C18 ACERT |
| 定格回転数               | 1,700 rpm     |
| 最大出力時回転数            | 1,500 rpm     |
| 定格出力(グロス ISO14396)  | 432 kW        |
| 定格出力(グロス SAE1995)   | 439 kW        |
| 定格出力(ネット SAE J1349) | 403 kW        |
| 内径                  | 145 mm        |
| ストローク               | 183 mm        |
| 総行程容積               | 18.1 L        |
| 最大トルク(1,200rpm)     | 2,852 Nm      |
| トルクライズ              | 58 %          |

## 質量

|                            |                                                                          |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 運転質量                       | 53,100 kg                                                                |
| 常用荷重 – 標準                  | 11,300 kg                                                                |
| 常用荷重 – ハイリフト               | 11,300 kg                                                                |
| バケット容量                     | 7.0 m <sup>3</sup> (標準リフト<br>アーム)      6.5 m <sup>3</sup> (ハイリフト<br>アーム) |
| Catダンブトラックとの適合性 –<br>標準リフト | 770～772                                                                  |
| Catダンブトラックとの適合性 –<br>ハイリフト | 773～775                                                                  |

## トランスミッション

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| トランスミッション形式 | Catプラネタリ式パワーシフト |
| 前進1速        | 6.5 km/h        |
| 前進2速        | 11.6 km/h       |
| 前進3速        | 20.4 km/h       |
| 前進4速        | 34.7 km/h       |
| 後進1速        | 7.5 km/h        |
| 後進2速        | 13.3 km/h       |
| 後進3速        | 23.2 km/h       |
| ロックアップ時前進1速 | ロックアップ無効        |
| ロックアップ時前進2速 | 12.5 km/h       |
| ロックアップ時前進3速 | 22.3 km/h       |
| ロックアップ時前進4速 | 39.3 km/h       |
| ロックアップ時後進1速 | 8.0 km/h        |
| ロックアップ時後進2速 | 14.3 km/h       |
| ロックアップ時後進3速 | 25.5 km/h       |

• 走行速度は、35/65-R33タイヤを想定したものです。

## 油圧システム – 作業装置

|                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| リフト/チルトシステム – サークキット  | 電気 – 油圧式ポジティブ<br>フローコントロール |
| 油圧ポンプ形式               | 可変容量ピストン                   |
| 最大流量(1,400~1,860 rpm) | 580 L/min                  |
| リリーフバルブ設定 – リフト/チルト   | 32,800 kPa                 |
| リフトシリンダ(ボアストローク)      | 210 mm ×<br>1,050 mm       |
| チルトシリンダ(ボアストローク)      | 269 mm ×<br>685 mm         |
| パイロットシステム             | オープンループ、減圧式                |
| 最大流量                  | 52 L/min                   |
| リリーフバルブ設定             | 3,800 kPa                  |

## 油圧サイクルタイム(1,400~1,860 rpm)

|                     |       |
|---------------------|-------|
| ラックバック              | 4.5秒  |
| 上げ                  | 8.0秒  |
| ダンブ                 | 2.2秒  |
| 下げ浮き下げ              | 3.5秒  |
| 合計油圧サイクルタイム(パケット空荷) | 18.2秒 |

## 油圧システム – ステアリング

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| ステアリングシステム – サークキット    | ロードセンシングパイロット |
| ステアリングシステム – ポンプ形式     | 可変容量ピストン      |
| 最大流量                   | 270 L/min     |
| リリーフバルブ設定圧 – ステアリング    | 30,000 kPa    |
| ステアリング角度(左右合計)         | 86°(左右43度)    |
| ステアリングサイクルタイム(高速アイドル時) | 3.4秒          |
| ステアリングサイクルタイム(低速アイドル時) | 5.6秒          |

## 交換時の容量

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 燃料タンク(軽油)                    | 712 L |
| 冷却水                          | 120 L |
| エンジンオイルパン                    | 60 L  |
| 尿素水                          | 33 L  |
| トランスミッション                    | 120 L |
| ディファレンシャルおよびファイナルドライブ – フロント | 186 L |
| ディファレンシャルおよびファイナルドライブ – リア   | 186 L |
| ハイドロリックシステム(工場充填)            | 475 L |
| ハイドロリックシステム(タンクのみ)           | 240 L |

- Tier 4 Final/Stage IVおよびオフロード法 2014年基準適合  
– Cat DEO-ULS™またはCat ECF-3、API CJ-4、およびACEA E9仕様に適合するオイルが必要です。
- 尿素水は ISO 22241-1 に適合した尿素水を使用してください。

## アックスル

|           |       |
|-----------|-------|
| フロント      | 固定式   |
| リア        | トラニオン |
| オシレーション角度 | 13°   |

## ブレーキ

|      |                      |
|------|----------------------|
| ブレーキ | 4輪制動全油圧式<br>湿式多板ディスク |
|------|----------------------|

## 騒音

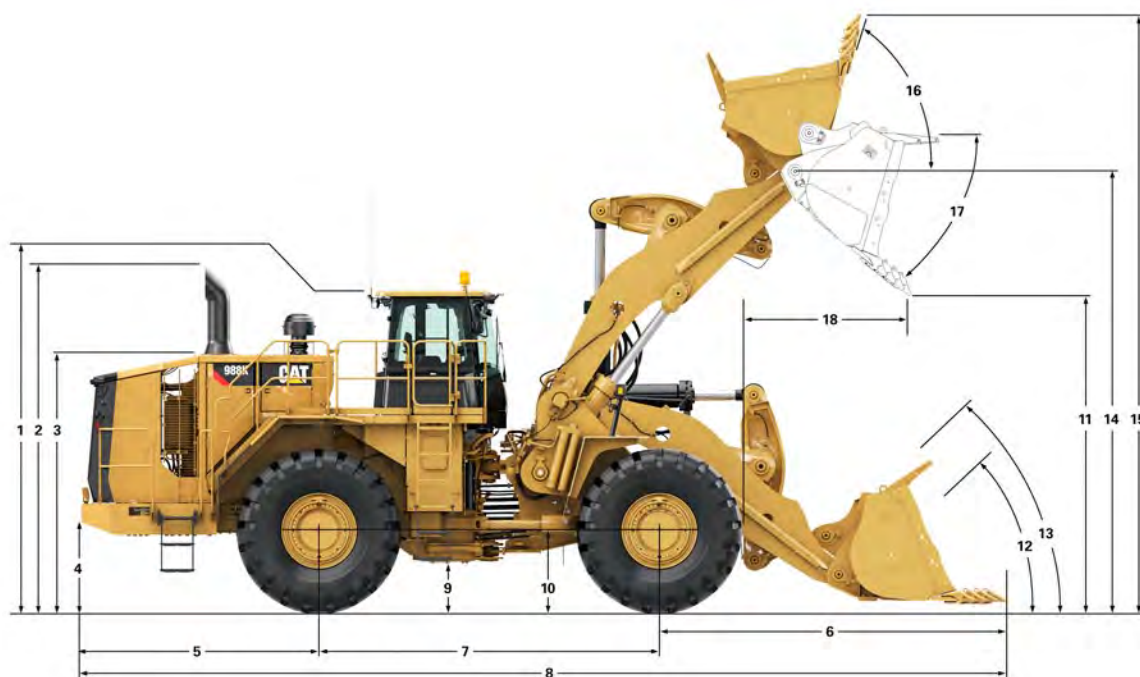
|                      | 標準仕様      | 低騒音仕様     |
|----------------------|-----------|-----------|
| オペレータ騒音レベル(ISO 6396) | 72 dB(A)  | 72 dB(A)  |
| 外部騒音レベル(ISO 6395)    | 111 dB(A) | 109 dB(A) |

- オペレータ騒音レベルはISO 6396:2008に準拠して計測されています。  
エンジン冷却ファン最高回転数の70%の時の計測値です。
- 外部騒音レベルはISO 6395:2008に準拠して計測されています。  
エンジン冷却ファン最高回転数の70%の時の計測値です。
- キャブが適切にメンテナンスされていない場合や、ドアや窓を開けた状態で長時間作業を行うとき、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

# 988Kホイールローダ仕様

## 寸法

寸法はすべて概算値です。



|                        | 標準リフト<br>7.0m <sup>3</sup> ロックバケット | ハイリフト<br>6.5m <sup>3</sup> ロックバケット |
|------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 全高(ROPS最上部まで)        | 4,225 mm                           | 4,225 mm                           |
| 2 全高(排気筒最上部まで)         | 4,535 mm                           | 4,535 mm                           |
| 3 全高(フード最上部まで)         | 3,370 mm                           | 3,370 mm                           |
| 4 バンパまでの最低地上高          | 970 mm                             | 970 mm                             |
| 5 リアオーバーハング            | 3,190 mm                           | 3,190 mm                           |
| 6 フロントオーバーハング          | 4,465 mm                           | 4,765 mm                           |
| 7 ホイールベース              | 4,550 mm                           | 4,550 mm                           |
| 8 全長                   | 12,205 mm                          | 12,505 mm                          |
| 9 最低地上高                | 605 mm                             | 605 mm                             |
| 10 アクスルの中心線までの高さ       | 1,015 mm                           | 1,015 mm                           |
| 11 タンピングクリアランス(最大リフト時) | 3,480 mm                           | 3,970 mm                           |
| 12 ラックバック角度(地上)        | 43.6°                              | 44.7°                              |
| 13 ラックバック角度(キャリアポジション) | 51.0°                              | 52.9°                              |
| 14 バケットヒンジピン高さ(最大リフト時) | 5,515 mm                           | 5,945 mm                           |
| 15 全高(バケット上げ時)         | 7,490 mm                           | 7,810 mm                           |
| 16 ラックバック角度(最大リフト時)    | 64°                                | 64°                                |
| 17 ダンプ角度(最大リフト時)       | -49°                               | -50°                               |
| 18 ダンピングリーチ(最大リフト時)    | 2,075 mm                           | 3,075 mm                           |

## バケット容量/推奨比重

| 標準リフト |                    |                               |
|-------|--------------------|-------------------------------|
|       | バケット容量             | 推奨比重                          |
|       | 5.5 m <sup>3</sup> | 1.9 t/m <sup>3</sup> 以下       |
|       | 6.5 m <sup>3</sup> | 1.45～1.81 t/m <sup>3</sup> 以下 |
|       | 7.0 m <sup>3</sup> | 1.66 t/m <sup>3</sup> 以下      |
|       | 7.5 m <sup>3</sup> | 1.51 t/m <sup>3</sup> 以下      |
|       | 11 m <sup>3</sup>  | 1.13 t/m <sup>3</sup> 以下      |
|       | 13 m <sup>3</sup>  | 0.9 t/m <sup>3</sup> 以下       |

# 988Kホイールローダ仕様

## 運転仕様 – 標準リフト

35/65 R33 XLDD1タイヤ装備の機械については、別の表でタイヤサイズをご確認ください。

|                                     |                | 988K標準リフトタイヤ: 35/65 33, 42PR BS L-5 |          |          |          |          |          |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| バケットのタイプ                            |                | 汎用                                  |          | ロックバケット  |          |          | 硬い岩石用    |
| 装着グラブエンゲージツール (GET)                 |                | アダプタまたはBOCE                         |          | K130     | K130     | K130     | K130     |
| カッティングエッジのタイプ                       |                | ストレート                               | ストレート    | スペード     | スペード     | スペード     | スペード     |
| バケット部品番号                            |                | 347-4990                            | 347-4980 | 347-4960 | 347-4950 | 347-4970 | 339-1370 |
| バケット容量(平積)                          | m <sup>3</sup> | 6.0                                 | 5.5      | 6.5      | 5.5      | 5.0      | 5.0      |
| バケット容量(山積)                          | m <sup>3</sup> | 7.5                                 | 7.0      | 7.5      | 7.0      | 6.5      | 6.5      |
| バケット幅                               | mm             | 3,850                               | 3,930    | 3,640    | 3,850    | 3,770    | 3,750    |
| ダンピングクリアランス(45°ダンプ時)                | mm             | 3,850                               | 3,930    | 3,640    | 3,850    | 3,770    | 3,750    |
| ダンピングクリアランス(45°ダンプ時、ツース先端部まで)       | mm             | –                                   | –        | 3,440    | 3,480    | 3,570    | 3,550    |
| ダンピングリーチ(45°ダンプ時)                   | mm             | 1,730                               | 1,655    | 1,945    | 1,780    | 1,810    | 1,825    |
| ダンピングリーチ(45°ダンプ時、ツース先端部まで)          | mm             | –                                   | –        | 2,125    | 2,075    | 1,995    | 2,000    |
| 水平リーチ(リフトアーム水平、バケット水平、ツース先端部まで)     | mm             | 3,670                               | 3,555    | 4,240    | 4,145    | 4,050    | 4,070    |
| 掘削深さ(バケット水平時)                       | mm             | 170                                 | 160      | 170      | 170      | 170      | 170      |
| 全長(バケット地上時)                         | mm             | 11,715                              | 11,600   | 12,290   | 12,205   | 12,100   | 12,120   |
| 全高(バケット最大リフト時)                      | mm             | 7,620                               | 7,520    | 7,590    | 7,500    | 7,410    | 7,420    |
| 最小旋回半径(キャリアポジション、バケット外側)            | mm             | 8,620                               | 8,590    | 8,700    | 8,670    | 8,650    | 8,660    |
| 最大ダンプ角                              | 度              | 51                                  | 51       | 51       | 51       | 51       | 51       |
| 転倒荷重 – 直進時(タイヤたわみ無時)                | kg             | 36,540                              | 36,950   | 35,520   | 35,990   | 36,140   | 34,990   |
| 転倒荷重 – 直進時(タイヤたわみ含む)                | kg             | 34,390                              | 34,810   | 33,390   | 33,880   | 34,050   | 32,910   |
| 転倒荷重 – (アーティキュレート35°時)(タイヤたわみ含まず)   | kg             | 32,730                              | 33,120   | 31,720   | 32,180   | 32,320   | 31,190   |
| 転倒荷重 (アーティキュレート35°時)(タイヤたわみ含む)      | kg             | 29,420                              | 29,840   | 28,440   | 28,930   | 29,100   | 27,980   |
| 転倒荷重 – (フルアーティキュレート43°時)(タイヤたわみ含まず) | kg             | 30,870                              | 31,260   | 29,880   | 30,330   | 30,470   | 29,340   |
| 転倒荷重 – (フルアーティキュレート43°時)(タイヤたわみ含む)  | kg             | 27,200                              | 27,620   | 26,240   | 26,730   | 26,890   | 25,770   |
| 掘削力                                 | kN             | 437                                 | 468      | 371      | 392      | 410      | 402      |
| 運転質量                                | kg             | 52,870                              | 52,630   | 53,440   | 53,100   | 53,070   | 54,050   |
| 質量配分(運搬姿勢時、空車)                      |                |                                     |          |          |          |          |          |
| 前軸重                                 | kg             | 28,849                              | 28,419   | 29,978   | 29,402   | 29,298   | 30,947   |
| 後軸重                                 | kg             | 24,021                              | 24,211   | 23,462   | 23,698   | 23,772   | 23,103   |
| 質量配分(運搬姿勢時、積車)                      |                |                                     |          |          |          |          |          |
| 前軸重                                 | kg             | 47,552                              | 47,064   | 48,706   | 48,082   | 47,939   | 49,577   |
| 後軸重                                 | kg             | 16,657                              | 16,906   | 16,074   | 16,358   | 16,471   | 15,813   |

## 運転仕様 – ハイリフト

35/65 R33 XLDD1タイヤ装備の機械については、別の表でタイヤサイズをご確認ください。

|                                   |    | 988K HLタイヤ: 35/65 |          |          |          |          |          |
|-----------------------------------|----|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| バケットのタイプ                          |    | 汎用                |          | ロックバケット  |          |          | 硬い岩石用    |
| 装着グランドエンゲージツール (GET)              |    | アダプタまたはBOCE       |          | K130     | K130     | K130     | K130     |
| カッティングエッジのタイプ                     |    | ストレート             | ストレート    | スベード     | スベード     | スベード     | スベード     |
| バケット部品番号                          |    | 347-4990          | 347-4980 | 347-4960 | 347-4950 | 347-4970 | 339-1370 |
| バケット容量(平積)                        | m³ | 6.0               | 5.5      | 6.5      | 5.5      | 5.0      | 5.0      |
| バケット容量(山積)                        | m³ | 7.5               | 7.0      | 7.5      | 7.0      | 6.5      | 6.5      |
| バケット幅                             | mm | 3,895             | 3,855    | 4,020    | 4,020    | 4,020    | 4,080    |
| ダンピングクリアランス(45°ダンプ時)              | mm | 4,250             | 4,340    | 4,040    | 4,110    | 4,170    | 4,160    |
| ダンピングクリアランス(45°ダンプ時、ツース先端部まで)     | mm | －                 | －        | 3,830    | 3,910    | 3,970    | 3,940    |
| ダンピングリーチ(45°ダンプ時)                 | mm | 1,811             | 1,734    | 2,024    | 1,947    | 1,892    | 1,905    |
| ダンピングリーチ(45°ダンプ時、ツース先端部まで)        | mm | －                 | －        | 2,208    | 2,130    | 2,075    | 2,079    |
| 水平リーチ(リフトアーム水平、バケット水平、ツース先端部まで)   | mm | 4,005             | 3,895    | 4,575    | 4,465    | 4,390    | 4,410    |
| 掘削深さ(バケット水平時)                     | mm | 180               | 180      | 180      | 180      | 180      | 180      |
| 全長(バケット地上時)                       | mm | 12,125            | 12,005   | 12,695   | 12,585   | 12,505   | 12,525   |
| 全高(バケット最大リフト時)                    | mm | 8,030             | 7,920    | 7,990    | 7,890    | 7,820    | 7,820    |
| 最小旋回半径(キャリアポジション、バケット外側)          | mm | 8,800             | 8,760    | 8,880    | 8,850    | 8,820    | 8,840    |
| 最大ダンプ角                            | 度  | -50               | -50      | -50      | -50      | -50      | -50      |
| 転倒荷重－直進時(タイヤたわみ無時)                | kg | 34,410            | 35,670   | 34,280   | 34,730   | 34,860   | 33,680   |
| 転倒荷重－直進時(タイヤたわみ含む)                | kg | 32,540            | 32,920   | 31,590   | 32,040   | 32,180   | 31,050   |
| 転倒荷重－(アーティキュレート35°時)(タイヤたわみ含まず)   | kg | 30,680            | 31,040   | 29,720   | 30,160   | 30,270   | 29,140   |
| 転倒荷重(アーティキュレート35°時)(タイヤたわみ含む)     | kg | 27,660            | 28,050   | 26,730   | 27,190   | 27,330   | 26,220   |
| 転倒荷重－(フルアーティキュレート43°時)(タイヤたわみ含まず) | kg | 28,870            | 29,230   | 27,920   | 28,350   | 28,460   | 27,330   |
| 転倒荷重－(フルアーティキュレート43°時)(タイヤたわみ含む)  | kg | 25,500            | 25,880   | 24,580   | 25,030   | 25,170   | 24,060   |
| 掘削力                               | kN | 403               | 431      | 341      | 361      | 377      | 370      |
| 運転質量(空車時)                         | kg | 54,220            | 53,980   | 54,780   | 54,440   | 54,410   | 55,390   |
| 質量配分(運搬姿勢時、空車)                    |    |                   |          |          |          |          |          |
| 前軸重                               | kg | 29,342            | 28,892   | 30,514   | 29,907   | 29,803   | 31,543   |
| 後軸重                               | kg | 24,878            | 25,088   | 24,265   | 24,532   | 24,606   | 23,847   |
| 質量配分(運搬姿勢時、積車)                    |    |                   |          |          |          |          |          |
| 前軸重                               | kg | 49,066            | 48,563   | 50,261   | 49,610   | 49,472   | 51,201   |
| 後軸重                               | kg | 16,494            | 16,757   | 15,859   | 16,169   | 16,277   | 15,528   |

## 標準装備品

標準装備品はこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

### 電気系統

- バックアップアラーム
- オルタネータ(単相 150 A)
- バッテリ
- コンバータ(10/15 A、24 Vから12 V)
- 照明システム(ハロゲン、作業灯、アクセスおよびサービスプラットフォーム照明)
- 始動および充電システム、24 V
- 緊急時始動用スタータソケット
- スタータロックアウト(パンパ)
- トランスミッションロックアウト(パンパ)

### オペレータ環境

- グラフィカルインフォメーションディスプレイは運転情報をリアルタイムで表示し、オペレータ設定を調整してカスタマイズできます。
- エアコン
- リアビューカメラシステム
- キャブ(騒音抑制および加圧式、一体型転倒時運転者保護構造(ROPS/FOPS))、ラジオ準備仕様(アンテナ、スピーカ、コンバータ(12-V、5 A))、電源ソケット
- コントロール装置(リフト/チルト機能)
- ヒータ、デフロスタ
- 電気式ホーン
- 計器、ゲージ類
  - 冷却水温
  - サービスメータ
  - 作動油温度
  - パワートレインオイル温度
- キャブ室内灯
- ランチボックス、ドリンクホルダ
- リアビューミラー
- Catコンフォートファブリックシート(エアサスペンション付き、6ウェイ調整機能)
- シートベルト警告表示
- 巻取り式シートベルト(76 mm幅)
- STICコントロールシステム
- UVガラス
- トランスミッションギヤインジケータ
- バイタルインフォメーションシステム(VIMS)およびグラフィックインフォメーションディスプレイ: 外部データポート、カスタマイズ対応オペレータプロフィール、サイクルタイマ、一体型ペイロードコントロールシステム
- ワイパ/ウォッシャ
  - フロントおよびリアワイパ(間欠式)
- 方向指示器

### パワートレイン

- ブレーキ、オイル冷却式、マルチディスク、サービス/セカンダリ
- ケースドレーンスクリーン
- クランクケースガード
- 電気-油圧式パーキングブレーキ
- C18 MEUIディーゼルエンジン、ターボチャージャー/アフタークーラ付き
- エンジン非常停止スイッチ
- エンジンエアインテイクタービンプレクリーナ
- 次世代モジュララジエータ(NGMR)
- 始動補助装置(エーテル、自動)
- スロットルロック(電子式)
- インペラクラッチトルクコンバータ(ICTC)(ロックアップクラッチ(LUC)付き)、リンプルコントロールシステム
- トランスミッション(プラネタリ式)パワースhift、4F/3R、電子制御)

### その他

- パケットポジショナ/キックアウト機能
- 機械の基本価格には、リム相当額が含まれる
- 油圧駆動式デマンドファン
- カップリング(Cat Oリングフェースシール)
- サービスアクセスドア(ロックング)
- エコロジードレーン(エンジン、ラジエータ、ハイドロリックタンク用)
- 燃料タンク(712 ℓ)
- ドローバヒッチ(ピン付き)
- ホース、Cat XT™
- ハイドロリックシステム(ステアリングおよびブレーキフィルタ/スクリーニングシステム)
- Cat排出ガス低減モジュール
- オイルサンプリングバルブ
- -34 °C (-29 °F)までの環境で凍結防止性能を有するロングライフクーラントの50 %混合液
- キャブおよびサービスプラットフォームへのリアアクセス
- ロードセンシングステアリング
- トーキック
- 盗難防止キャップロック

## オプション装備品

運転質量には多少の変化があり、オプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

### パワートレーン

- -50 °C (-58 °F) 不凍液
- エンジンオイル交換システム (高速、Wiggins)
- エンジンブロックヒータ (120 V または 240 V)
- 酷暑用クーリングシステム ~50°C 対応
- Cat プロダクションメジャメントシステム

### オペレータ環境

- キャブプレクリーナ
- AM/FM/CD/MP3 ラジオ
- 回転灯 (LED)
- ウィンドウプルダウン式バイザ

### その他のアタッチメント

- フロントおよびリアローディングフェンダ

## 必須アタッチメント

各グループから1つを選んでください。必須装備品とオプション装備品は異なる場合があります。詳細についてはCatディーラーにお問い合わせください。

### リンケージ

- 標準(バルブ2個)\*
- 標準(バルブ3個)
- ハイリフト(バルブ2個)
- ハイリフト(バルブ3個)

- 自動給脂システム
- 手動給脂システム\*

### ステアリング

- 標準ステアリング
- セコンダリストアリング\*

### パワートレーン

- アクスルオイルクーラ
- 標準アクスル\*

- 標準燃料ライン\*
- ヒータ付燃料ライン

- 標準アクスル\*
- ノンスピンアクスル
- 耐熱仕様アクスル

- 標準エンジンエアタービンプレクリーナ\*
- デュアルステージプレクリーナ

- エンジン標準仕様\*
- コンプレッションブレーキ付エンジン

### ライト

- 標準ライト\*
- HIDライト
- LEDライト

### オペレータ環境

- 標準騒音仕様\*
- 低騒音仕様

- 標準シート\*
- ヒータ付きシート

- 標準シートベルト\*
- 4点式シートベルト

- 標準キャブガラス\*
- ラバーマウントキャブガラス

- 固定ガラスドア(標準装備)\*
- スライド式ガラスドア

- 標準キャブエアクリーナ\*
- RESPAキャブエアクリーナ

- 標準ミラー\*
- 熱線入りミラー

- リヤビューカメラ\*

### 油圧システム

- ライドコントロール
- ライドコントロール非装着\*

- 標準作動油\*
- 耐火仕様(EcoSafe)作動油
- 寒冷地用作動油

### 燃料システム

- 標準燃料アレンジメント\*
- 寒冷時始動用アレンジメント

\* 国内標準仕様構成品



AJHQ6999-02 (03-2015)  
AJHQ6999-01の改訂版

Cat製品、ディーラのサービス、各業界向けソリューションの詳細については、[www.cat.com](http://www.cat.com)をご覧ください。

© 2014 Caterpillar  
All rights reserved

この製品に使用される材料および仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプションの装置が装備されている場合があります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、SAFETY.CAT.COM、それらの各ロゴ、"CaterpillarYellow" および "PowerEdge" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkは、Trimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき機体質量 3 トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量 3 トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。吊り上げ荷重 1 ～ 5 トン未満の「小型移動式クレーン」の運転、および吊り上げ荷重 1 トン以上の玉掛け業務には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

